

今日のキーワード「ベージュブック」、景気は緩やかに拡大（米国）

「ベージュブック」は、米国に12ある地区連邦準備銀行（地区連銀）が、管轄地域の経済状況をまとめた「地区連銀経済報告」のことです。表紙のベージュ色が名前の由来であり、経済情勢についての総合判断、主要産業の動向や雇用・物価動向などがまとめられています。「ベージュブック」は、年に8回開催される連邦公開市場委員会（FOMC）の2週間前の水曜日に公表され、金融政策の判断材料として用いられます。

ポイント1

経済活動への評価は、「緩やかなペースで拡大」

前回1月の評価に比べ僅かに前進

- 3月1日に公表された最新の「ベージュブック」は、「1月初旬から2月中旬にかけて、経済活動は“緩やか、ないし緩慢”なペースで拡大」と総括しました。1月18日に発表された前回報告の「ほとんどの地区が引き続き“緩慢”なペースで拡大」に比べ、評価は僅かに前進したと判断されます。

ポイント2

消費関連、製造業、建設は拡大基調を維持

労働需給は引き続きタイト

- 各論を見ると、まず個人消費については、「緩慢な拡大」との評価でした。前回と同様、店舗での購入からインターネットを通じた購入にシフトしているとの指摘が散見されました。自動車販売や旅行・レジャーは、大半の地区から販売増との報告がありました。
- 製造業の活動は幾らか加速しましたが、ほとんどの地区が拡大のペースは緩やかと評価しました。一方、住宅建設、商業用不動産は緩慢な拡大、住宅価格は多くの地区で底堅く推移しています。
- 労働市場については、需給の逼迫と穏やかな賃金上昇が報告されました。なかでもITなど高度技術を有する人材のほか、建設、娯楽といった業種での労働力不足が指摘されました。



今後の展開

緩やかな景気拡大が継続する見通し

■ 3月のFOMCで利上げの公算

今回の「ベージュブック」は、景気拡大と労働需給タイト化の継続を示唆する内容でした。最近のFOMCメンバーのタカ派的な発言と考え合わせると、3月14日、15日に開催される次回FOMCで、政策金利が引き上げられる可能性は高まったと判断されます。

■ 株価は業績の伸びに沿った動きになるう

米国の経済は拡大局面にあります。利上げは継続される見通しですが、物価の安定や景気への配慮等から利上げのペースは緩慢と考えられます。今後、国債利回りは落ち着いた推移、株価は景気、業績の拡大ペースに沿った動きになると予想されます。

ここも チェック！

2017年3月 1日 トランプ大統領の施政方針演説

2017年2月16日 イエレンFRB議長の「議会証言」（米国）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。